

- 1 $\triangle ABC$ で、辺BC, CA, ABの中点を、それぞれL, M, Nとする。 $\overrightarrow{AB}=\vec{b}$, $\overrightarrow{AC}=\vec{c}$ とすると、次のベクトルを \vec{b} , \vec{c} で表せ。(各2点×4=8点)
- (1) \overrightarrow{BC} (2) \overrightarrow{AL}
- (3) \overrightarrow{CN} (4) \overrightarrow{MN}

- 2 $\vec{a}=(1, 2)$, $\vec{b}=(2, 1)$ であるとき、ベクトル $\vec{c}=(11, 10)$ を $s\vec{a}+t\vec{b}$ の形に表せ。(2点)

- 3 $\vec{a}=(2, x)$, $\vec{b}=(x+1, 3)$ とする。(各2点×2=4点)
- (1) $2\vec{a}+\vec{b}$ と $\vec{a}-2\vec{b}$ が垂直になるように、 x の値を定めよ。

- (2) $2\vec{a}+\vec{b}$ と $\vec{a}-2\vec{b}$ が平行になるように、 x の値を定めよ。

- 4 3点(5, 1), (1, 2), (2, 5)を頂点とする平行四辺形の、第4の頂点の座標を求めよ。(3点)

- 5 $\vec{a}=(10, 5)$, $\vec{b}=(1, 2)$ とする。このとき、 $|\vec{a}+t\vec{b}|$ の最小値とそのときの実数 t の値を求めよ。(2点)

- 6 1辺の長さが1である正方形ABCDにおいて、次の内積を求めよ。(各2点×4=8点)
- (1) $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC}$ (2) $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{BC}$

- (3) $\overrightarrow{CB} \cdot \overrightarrow{DA}$ (4) $\overrightarrow{CA} \cdot \overrightarrow{DC}$

- 7 次のベクトル \vec{a} , \vec{b} の内積と、そのなす角 θ を求めよ。(各2点×2=4点)
- (1) $\vec{a}=(2, 1)$, $\vec{b}=(4, -8)$ (2) $\vec{a}=(-\sqrt{3}, 1)$, $\vec{b}=(1, -\sqrt{3})$

- 8 $|\vec{a}|=2$, $|\vec{b}|=\sqrt{3}$, $|\vec{a}-\vec{b}|=1$ であるとき、次の問いに答えよ。(各2点×2=4点)
- (1) \vec{a} と \vec{b} のなす角 θ を求めよ。

- (2) $|2\vec{a}-3\vec{b}|$ の値を求めよ。

- 9 $|\vec{a}|=|\vec{b}|=2$, $|\vec{a}+\vec{b}|=2$ のとき、 $\vec{a}+\vec{b}$ と $\vec{a}+t\vec{b}$ が垂直になるように、実数 t の値を定めよ。(2点)

- 10 次のベクトルを成分表示せよ。(各2点×2=4点)
- (1) $\vec{a}=(-1, \sqrt{3})$ に垂直な単位ベクトルを求めよ。

- (2) $\vec{b}=(-1, 3)$ に平行な単位ベクトル

11 平行四辺形 ABCD の対角線 BD の 3 等分点を、B に近い方から順に E, F とする。
このとき、四角形 AECF は平行四辺形であることを証明せよ。(3点)

12 3 点 $A(\vec{a})$, $B(\vec{b})$, $C(\vec{c})$ を頂点とする $\triangle ABC$ において、辺 BC, CA, AB を 3:4 に
外分する点をそれぞれ L, M, N とする。また、 $\triangle LMN$ の重心を G とする。
(1) 点 G の位置ベクトル \vec{g} を \vec{a} , \vec{b} , \vec{c} を用いて表せ。(3点)

(2) 等式 $\vec{AL} + \vec{BM} + \vec{CN} = \vec{0}$ が成り立つことを証明せよ。(3点)

13 $AB=5$, $BC=6$, $CA=7$ である $\triangle ABC$ の内心を I とする。 $\vec{AB}=\vec{b}$, $\vec{AC}=\vec{c}$ とする
とき、 \vec{AI} を \vec{b} , \vec{c} を用いて表せ。(3点)

14 $OA=2\sqrt{2}$, $OB=\sqrt{3}$, $\vec{OA}\cdot\vec{OB}=2$ である $\triangle OAB$ の垂心を H とするとき、 \vec{OH} を
 \vec{OA} , \vec{OB} で表せ。(3点)

15 $\triangle ABC$ で、辺 BC を 2:1 に外分する点を P, 辺 CA の中点を Q, 辺 AB を 1:2 に内
分する点を R とする。
(1) 3 点 P, Q, R は一直線上にあることを証明せよ。(3点)

(2) $PQ:QR$ を求めよ。(2点)

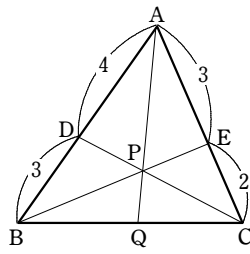
16 $\triangle ABC$ と点 P について、等式 $2\vec{PA} + 3\vec{PB} + 4\vec{PC} = \vec{0}$ が成り立っている。直線 AP と辺
BC の交点を D とするとき、次のものを求めよ。
(1) $BD:DC$ (3点)

(2) $AP:PD$ (2点)

(3) 面積の比 $\triangle PBC : \triangle PCA : \triangle PAB$ (3点)

17 $AB=5$, $AC=4$, $\angle A=60^\circ$ の $\triangle ABC$ の頂点 A から辺 BC に下ろした垂線を AH と
するとき、 \vec{AH} を \vec{AB} , \vec{AC} で表せ。(3点)

- 18 $\triangle ABC$ において、辺 AB を $4:3$ に内分する点を D 、
 辺 AC を $3:2$ に内分する点を E とし、2つの線分
 CD 、 BE の交点を P とする。また、 AP の延長と辺
 BC の交点を Q とする。(各3点 \times 2=6点)
 $\vec{AB}=\vec{b}$ 、 $\vec{AC}=\vec{c}$ とするとき
 (1) \vec{AP} を \vec{b} 、 \vec{c} で表せ。



- (2) \vec{AQ} を \vec{b} 、 \vec{c} で表せ。

- 19 $OA=3$ 、 $OB=2$ 、 $\angle AOB=60^\circ$ である $\triangle OAB$ において、その外心を P とする。
 $\vec{OA}=\vec{a}$ 、 $\vec{OB}=\vec{b}$ とするとき、 \vec{OP} を \vec{a} 、 \vec{b} を用いて表せ。(3点)

- 20 3点 $O(0, 0)$ 、 $A(2, 1)$ 、 $B(1, 3)$ がある。実数 s 、 t が次の条件を満たしながら変化する
 とき、 $\vec{OP}=s\vec{OA}+t\vec{OB}$ で表される点 P の存在範囲を図示せよ。(各2点 \times 2=4点)
 (1) $3s+4t=12$

- (2) $2s+3t\leq 6$ 、 $s\geq 0$ 、 $t\geq 0$

- 21 ベクトルを用いて、次の直線の方程式を求めよ。(各2点 \times 3=6点)

(1) 点 $A(1, 2)$ を通り、ベクトル $\vec{d}=(-6, 2)$ に平行な直線

(2) 2点 $A(1, 2)$ 、 $B(3, 1)$ を通る直線

(3) 点 $A(1, 2)$ を通り、ベクトル $\vec{n}=(1, -2)$ に垂直な直線

- 22 2直線 $2x+4y+1=0$ 、 $x-3y+7=0$ のなす角 α を求めよ。ただし、 $0^\circ\leq\alpha\leq 90^\circ$ とする。
 (3点)

- 23 平面上で、原点 O と異なる定点 A に対して、動点 P を考える。 $\vec{OA}=\vec{a}$ 、 $\vec{OP}=\vec{p}$ が次
 の条件を満たすとき、動点 P はどのような図形を描くか。(各3点 \times 2=6点)

(1) $|\vec{p}|=|\vec{p}-\vec{a}|$

(2) $|\vec{p}|^2-2\vec{a}\cdot\vec{p}=0$